

+ 成田赤十字病院広報誌

ふれあい

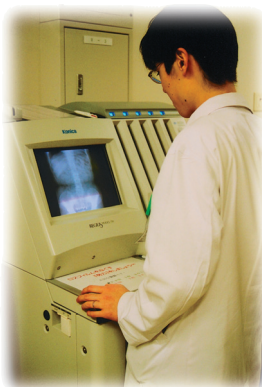
〒286-8523 千葉県成田市飯田町90-1

TEL 0476(22)2311(代) <http://www.naritasekijyuji.jp/>



成田赤十字病院は、平成16年3月15日付けで（財）日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価（Ver.4.0）の認定を受けました。

私たちは、これからも皆さま方の信頼に応えられるようがんばってまいります。



総合内科の開設について

内科副部長 森 尾 比 呂 志

近年の医学の進歩に伴い、患者様の診療は胃腸の病気は消化器の専門医、心臓病は循環器専門医というように病気の生じている臓器毎に各専門分野の医者に診療を受けるシステムを中心として高度に細分化して発展を遂げてきました。しかしながら、高齢化社会を迎えるにあたり、1人の患者様が同時に様々な問題を抱えることが多くなり、従来の各専門医別の診療では対応しにくいことが多くなってきました。また、医療テクノロジーに偏重し、病気を見て病人を診ない専門診療の行き過ぎた細分化に対して、患者様からの不満、あるいは医療側からの反省の声が叫ばれるようになってきました。こうした背景のもと、臓器や疾患を選ばず、患者の健康上の問題に広い視野から対処することが必要となり、各地の病院で“総合内科”“総合診療科”などが開設されてきています。当院でもこうした目的のもと、平成16年4月より“総合内科”を開設することになりました。総合内科が扱う患者様は、コモンディーズと呼ばれる比較的ありふれた病気の患者様を中心とし、また、全身性の感染症、原因不明の発熱など、原因が特定の臓器によらない病気や、直ぐには原因が分からない症状の病気、あるいは問題となる臓器が複数にわたりかつ同時に治療が必要な患者様なども扱って参ります。更に専門医の診療が必要な場合は各専門医に相談しながら患者様中心の診療を行うことを目指しております。当院では従来より、各専門医療に偏ることのないよう、初診や2回目の外来では、ベテランの医師が総合的な視野から患者様を診察して参りましたが、これを今後は総合内科が中心となって行っていく予定です。当初は総合内科の専任スタッフが少ないため、内科の中での総合内科の役割が分かりづらいかも知れませんが、徐々に総合内科としての特色を発揮できるよう努めて参りたいと考えております。



花粉症の対応について

耳鼻咽喉科部長 根 本 俊 光

スギ花粉症はスギ花粉が鼻の粘膜や眼の結膜に触れることによりアレルギー反応を起こすものであり、主な症状はくしゃみ、（水のように透明な）鼻水、鼻づまりや眼のかゆみです。

花粉の量が多いほど強く症状が出るため、気温が高く風が強い日には外出を控えましょう。

その他外出時にはマスク、眼鏡、帽子などを身につけておく、布団や洗濯物は外に干さないといった習慣も大切です。

薬物療法については内服薬や点鼻薬が主に使われています。

内服薬は従来副作用の眠気が問題でしたが、最近はこの点を改良したものも開発されてきました。

これらの薬は飲み始めてから効果が安定するまで2週間程度かかり、症状がひどくなってから飲んでも効きづらいという特徴があります。

関東地方では例年スギ花粉の本格的飛散開始は2月中旬頃なので、毎年スギ花粉症にお悩みの方は1月末か2月初旬くらいから眠気の少ないタイプの内服薬を始められると良いと思います。

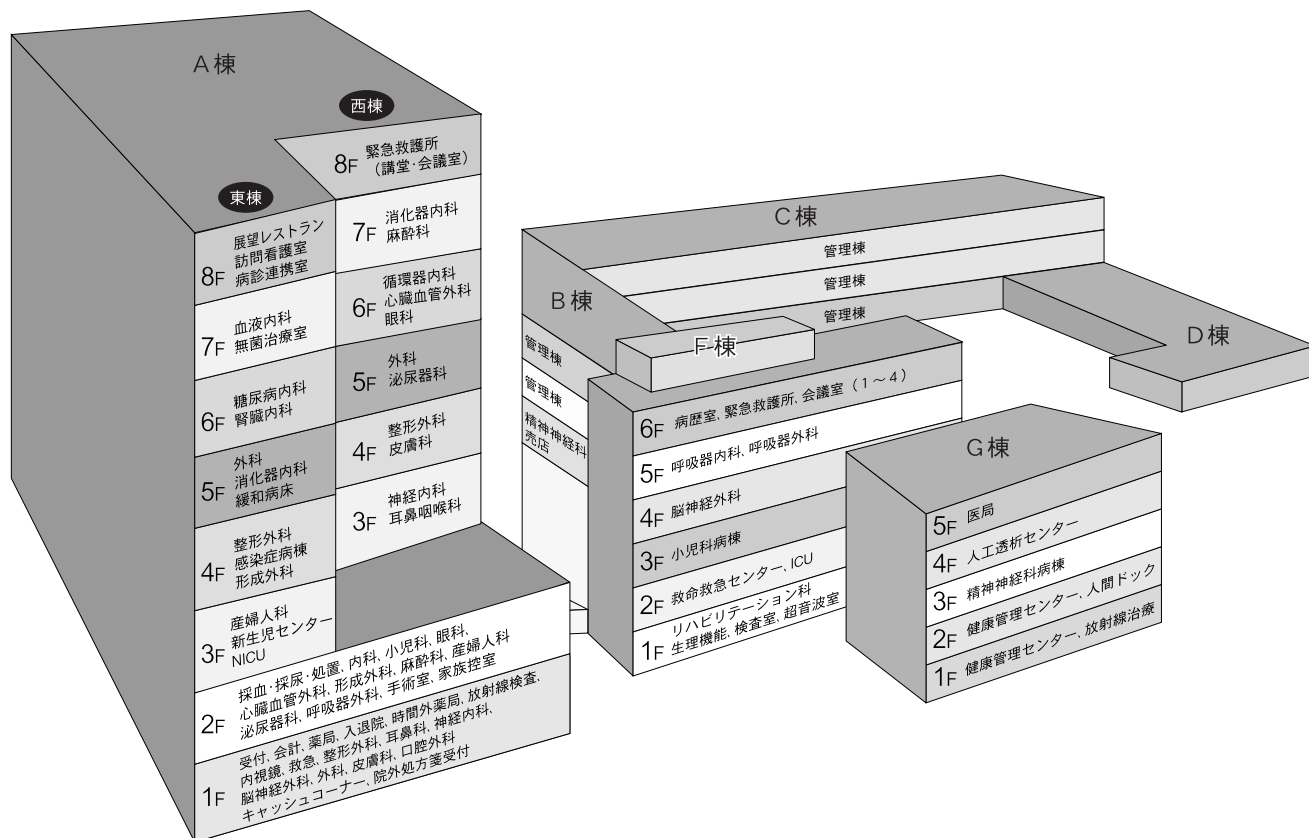


病棟の各科配置を一部変更します

現在、各科別に配置している病棟を、複数の疾患による入院患者様に対応するため、A棟及びF棟の病床配置を一部変更いたします。

なお、変更の内容については、以下のとおりとなります。

科 名	変 更 前	変 更 後
腎臓内科	F棟5階	A棟6階東病棟
消化器内科	A棟7階西病棟	A棟7階西病棟 及び A棟5階東病棟
形成外科	F棟4階	A棟4階東病棟
循環器内科	F棟5階	A棟6階西病棟
心臓血管外科	F棟5階	A棟6階西病棟
呼吸器内科	A棟6階西病棟	F棟5階
呼吸器外科	A棟5階東病棟	F棟5階



成田赤十字病院 外来担当医表

診療受付時間 8：30～11：00（自動再来受付機による再診受付は7：00から）但し形成外科は12：30から

（平成16年4月1日現在）

診療科目			月	火	水	木	金	土(第1・3・5)
内科	①	初診	柳沢孝夫	松尾 哲	尾世川正明	小方信二	連沼桂司	藤森 新島 森尾
	②		森尾比呂志	青墳信之	脇田 久	新島真文	松浦康弘	倉本 志賀 遠藤
	③	初回再診	寺田二郎／倉本充彦	平栗雅樹	櫻田正也	松浦康弘／森尾比呂志	平栗雅樹	江渡 平栗
	⑬		午後 志賀 孝	第1・3小方信二／第2・4・5尾世川正明	江渡秀紀		新島真文／江渡秀紀／森尾比呂志／藤森義治	で交代
	⑤総合1	再(予約)診	門平忠之	志田千穂	柳沢孝夫	尾世川正明	大橋弘文	〈訪問〉 尾世川正明 柳澤孝夫
	⑥総合2		加藤慶三	波多野 将	松本一暁	(膠原病)柳沢孝夫	青山大輔	
	④血液内科		青墳信之	脇田 久	松浦康弘	脇田 久	脇田 久	⑤波多野 将
	⑨消化器内科		小方信二	伊能崇税	福田和司	遠藤哲也	木下真子	⑥松岡 祐之
	⑧呼吸器内科		新島真文	江渡秀紀	新島真文	(喘息外来)平栗雅樹	寺田二郎	⑦伊能 崇税
	⑩循環器内科		尾世川正明	寺沢公仁子	森尾比呂志	志賀 孝	藤森義治	⑧伊能 崇税
	⑪腎臓内科		連沼桂司	大橋弘文	(膠原病)平栗雅樹	(糖尿病)松尾 哲	倉本充彦	⑨連沼 桂司
	⑫糖尿病内科		萩野 淳	櫻田正也	松尾 哲	萩野 淳	櫻田正也	⑩萩野 淳
	(午後)				⑥村山太一／藤森義治	江渡秀紀		
	救急外来	午前	吉村将之	川村良一	竹田勇輔	志田千穂	万代恭文	交代制
		午後	藤堂貴彦	山本麻衣	下斗米英史	石塚広司	玉置奈緒子	
	人間ドック	午前	松岡祐之	連沼桂司	連沼桂司	伊能崇税	松岡祐之	連沼桂司／伊能崇税
	糖尿病教室	午後	松尾 哲／櫻田正也					松尾 哲／櫻田 正也
		初診	大多和 哲	伊藤勝彦	石井隆之	清水善明	西谷 慶	近藤英介
外科		再診	小川 清	石井隆之	伊藤勝彦	小川 清	大多和 哲	土地岳彦
心臓血管科		初診・再診		小林信之		小林信之		
整形外科		初診	喜多恒次	斉藤正仁	三枝 修	古志貴和	小泉 涉	初診・指定患者・ 投薬のみ
		再診	三枝 修・小泉 涉	喜多恒次・古志貴和	斉藤正仁・小泉 涉	三枝 修	喜多恒次	
小児科		初診・再診	眞山和徳・野口博史	眞山和徳・五十嵐俊次	眞山和徳・野口博史	角南勝介・野口 靖	眞山和徳・野口博史	第1・3・5 角南勝介
			角南勝介・渡邊智之	野口博史・田草川彩子	野口 靖・関水匠大	渡邊智之・鈴木伸代	五十嵐俊次・高野牧子	第1・3・5 鈴木伸代
	特殊外来 (要予約)	午後	第1～4(予防接種) 交代制	(乳児健診) 交代制	(内分泌)眞山和徳 (血液)角南勝介 (循環器)交代制 第4(発達)野口博史	(血液)五十嵐俊次 野口 靖 (内分泌)渡邊智之 第4(神経)杉田克生	(発達)藤森 健	第1・5 五十嵐俊次 第1・5 渡邊 智之 第3 野口 靖 第3 田草川彩子
脳神経科		初診・再診	柴橋博之	中村道夫	加藤 誠	五十嵐琢司 国保能彦(第3)	柴橋博之	加藤 誠
産婦人科	婦人科	初診	田中 圭	小林恵美里	坂本建彦	上杉健哲	石井 譲	山地沙知
	産科	再診	小林恵美里	田中 圭・山地沙知	上杉健哲	石井 譲	坂本建彦	KSP外来大学医師
眼科		初診・再診	渡部美博	交代制	交代制	渡部美博	渡部美博	交代制
			窪田伸矢・津田可奈			小林晋二・津田可奈	小林晋二・窪田伸矢	
耳鼻咽喉科		初診・再診	根本俊光	橘 昌利	初診紹介患者のみ	根本俊光	佃 朋子	初診・指定患者・ 投薬のみ
			佃 朋子・村本武久	佃 朋子・大学医師		橘 昌利・村本武久	松本武久	
皮膚科		初診・再診	山本克志	寄藤和彦	手術日	山本克志	寄藤和彦	初診・指定患者・ 投薬のみ
			宮川健彦	山本克志		宮川健彦	伊豫田恵津子	
泌尿器科		初診・再診	大木健正	遠藤 匠	中町 裕	大木健正	中町 裕	第1・3 深沢 第5大木健正・中町 裕
			高尾昌孝		大木健正	山本香織	宮内武弥	
神経内科		初診	小松幹一郎	島田 斉	吉川由利子	澤井 摂	片山 薫	大飯啓史
		再診	片山 薫	吉川由利子	澤井 摂	片山 薫	小松幹一郎	
	特殊外来 (予約制)	再診のみ 13：30～				特殊外来(パーキンソン病) 吉川由利子	島田 斉	片山 薫
精神科		初診	斎賀孝久	赤田弘一	佐藤茂樹	竹田修志	今井逸雄	今井逸雄
		再診	赤田弘一／竹田修志・今井逸雄	佐藤茂樹・佐小池 香	斎賀孝久／竹田修志・今井逸雄	佐藤茂樹・斎賀孝久	赤田弘一・竹田修志	赤田弘一／佐藤茂樹／竹田修志／斎賀孝久
放射線科		初診・再診	岡田淳一	大学講師 (尾形 均)	岡田淳一	大学講師 (磯部公一)	岡田淳一	指定患者のみ
麻酔科		初診・再診 8:30～12:00		藤井りか		江澤里花子		木島正人
口腔外科		初診・再診	宮 恒男	宮 恒男	宮 恒男	宮 恒男	宮 恒男	宮 恒男
			東壽一郎	東 壽一郎	東 壽一郎	東 壽一郎	東 壽一郎	東 壽一郎
形成外科		初診・再診 12：30～	黒木知明		黒木知明		黒木知明	
			大森直子		中島順子		大森直子	
呼吸器科		初診・再診	斎藤幸雄		斎藤幸雄			

※内科①～⑬は診療室の番号です

基本理念・基本方針

【基本理念】

- ・医療の質の向上、安全な医療の提供に努めます
- ・患者様の権利、医療人としての倫理を守ります
- ・患者様中心の「こころあたたかい医療」の実践に努めます

【基本方針】

- ・地域の皆様から信頼される病院を目指します
- ・救急医療の充実、より高度な医療の提供に努めます
- ・地域の医療機関とのより一層の連携（病診連携、病病連携）に努めます

患者様の権利

私たちは、患者さまの権利を尊重し、最善の医療の提供に努めます。

1. あなたの尊厳を守ります。
2. 適切な医療を受ける権利を尊重します。
3. 診療についての十分な情報、説明を受ける権利を尊重します。
4. 自分自身の治療について自分で決定する権利を尊重します。
5. あなたのプライバシーが守られます。